

とどろき利治の

メン!!

国会 一本勝負



《発行元》民主党参議院比例区第5総支部

轟木利治事務所 参議院議員会館 518 号室 Tel:03-3508-8518/Fax:03-5512-2518

こんにちは、とどろき利治です。

例年以上に暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？とくに作業現場では熱中症に気をつけて、安全にこの季節を乗り切っていただきたいと思います。

挨拶回りをさせていただきました

前号でお知らせしましたように、これまで伺えていなかった県本部・構成組合を中心に、挨拶回りをさせていただいておりました。お忙しい中ご対応いただきまして、誠にありがとうございます。久々に多くの組合の方々とお話ができ、現場の声を聞くことの大切さを改めて感じました。今回都合がつかなかった県本部・センターには、またの機会をとらえてぜひお邪魔させていただきます。

また、当該県本部の委員長、事務局長さんには、終日にわたってお付き合いをいただくなど、大変お世話になりました。あらためて御礼申し上げます。

第2次福田内閣が発足。臨時国会はいつから？

8月1日に、噂されていた福田改造内閣が発表され、私が担当する環境（斉藤鉄夫大臣が新たに任命されました）をはじめ、顔ぶれががらりと変わることになりました。

底に張り付いたままの低支持率を打破するために、大幅な入れ替えを行ったつもりなのでしょうが、大切なのは生活者、国民の視点に立った政治ができるかどうかあって、顔ぶれではありません。これまでのようないい加減な対応を続けるのであれば、新内閣も早晚低支持率に喘ぐことになるでしょう。

その新内閣と対峙する場となる秋の臨時国会ですが、当初言われていた8月中の召集はなさそうな雰囲気が強まっています。憶測の域を出ませんが、早くて9月上旬、場合によっては9月下旬という声も出ているようです。新給油法の期限前に、衆院で再可決できるようにするためだけに、前倒しで臨時国会を召集する、というのは到底理解しがたいものですし、私としても、皆さんへのご挨拶回りにより多くの時間を割くことが可能になるわけですから、喜ばしい限りです。

業界用語を少しご紹介します

閉会中のため、国会の動きについてご報告するようなネタがありません。そこで、国会特有の用語をいくつか紹介したいと思います。皆さんにとっては、覚えてもらっても何の得にもならないかも知れませんが、しばらくお付き合いください。

【差し替え^{さしか}え】

担当している委員会に出席ができない場合に、他の議員に代理出席してもらうことを言います。

開催しないだろうと見込んで、すでに他の予定を入れてしまっていた委員会から、突如、「明日開催します」という連絡が入った場合などは、夜中まで他の事務所に代理出席依頼の電話を掛けまくることになります。1年生議員は、担当委員会に毎回出席するよう党から厳命を受けていますので、私の場合はまだそのような経験はありませんが、反対に、差し替え依頼を受けたことは山ほどあります。

【禁足^{きんそく}】

定例外の本会議が急ぎで開催されることになっても、遅れずに出席できるような場所にとどまっておくことを言います。

政局が重要な局面を迎えた時などは、「明日の昼まで禁足」、「土日ともに終日禁足」などといった指示が、しばしば党から出されます。厳密な定義はないようですが、おおむね1時間内に国会に到着できるところまでは、足を伸ばしても良いようです。

【吊るし^{つるし}】

委員会に付託された法案を、審議せずにそのままにしておくことを「吊るしておく」と言い、逆に審議入りすることを「吊るしを下ろす」と表現します。

政局が非常に緊迫した場面では、法案審議の順番やタイミングによって、その後の展開が大きく変化することもあるため、この「吊るし」の扱いをめぐって与野党間で激しい駆け引きが行われることもあります。

お世話になりました

とどろき事務所で秘書をやっております、井出です。8月末をもちまして、基幹労連本部に復職することとなりました。1年という短い期間ではありましたが、貴重な経験をさせていただいたことに感謝申し上げます。そしてこの経験を、今後の産別運動に生かしていく所存でありますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

今回は以上です